

- 徳島市では、地域の実情に応じた持続的な森林の整備及びその意識の向上並びに健全な森林の育成が出来るように、地域住民が主体となって行う市内の森林の維持管理、普及及び啓発等の事業に対し、その経費の補助を行っている。
- 様々な形で地域住民が森林に触れたり、森林整備等の活動に関わる機会を持つことができるように、交付対象事業を「森林保全活動コース」、「木育活動コース」、「ナラ枯れ被害活動コース」の3つとし、森林整備・人材育成・普及啓発に寄与するものとしている。

□ 事業内容

わくわく実感！森林づくり支援事業補助金

- ・ 森林保全活動コース
- ・ 木育活動コース
- ・ ナラ枯れ被害対策活動コース

補助対象者：市内で活動する5人以上の団体

補助率：各コース補助対象経費の10分の10（上限400千円）

※一部、別条件有

【事業費】911千円（全額譲与税充当）

【実績】交付件数：1件（森林保全活動コース）
2件（木育活動コース）



（木育イベントの様子）

□ 取組の背景

- ・ 徳島市では、森林の重要性が認識されつつある一方で、市民が実際に森林に触れたり、森林整備等の活動に関わる機会はまだ十分とはいえない。そのため森林管理の重要性や森林が果たす役割について、体験を通じて理解を深め、関心を高めていくことが課題となっている。
- ・ こうした課題を踏まえ、林道の清掃活動支援のほか、森林や林業について身近に感じる機会を創出することを目的とした木育イベント支援を実施した。

□ 工夫・留意した点

- ・ 体験型ブース・写真展示を通じて、林業の仕事や森林の役割を体験的・視覚的に伝える構成とした。
- ・ 子供を含む来場者が安全に体験できるよう、スタッフによる補助・見守りを徹底した。
- ・ 清掃活動については、参加者の安全確保に留意し、無理のない作業内容とすることで、継続的な活動に繋がるよう配慮した。

□ 取組の効果

- ・ 森林や林業を、生活と結び付けて捉える意識が醸成され、理解と関心の高揚に繋がった。
- ・ 清掃活動については、地域が主体となって継続的に森林を守る意識が醸成された。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：47,895千円	②私有林人工林面積(※1)：934ha	
③林野率(※1)：26.4%	④人口(※2)：252,391人	⑤林業就業者数(※2)：91人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より